

令和4年度第2回健康計画推進委員会会議録

| | |
|--|---|
| 日 時 | 令和4年12月8日（木）13時30分～15時 |
| 場 所 | 大栄農村環境改善センター 大会議室 |
| 出席者 | <p>【委員】 宮川秀人委員、仲秀典委員、平賀瑞雄委員、荒川辰也委員、中本康則委員、 田村禎之委員、奥田よしの子委員、一二三満雄委員、財賀真由美委員 9名（欠席7名）</p> <p>【事務局】 吉岡課長、木村室長、塚本</p> |
| <p>1. 開会 2. あいさつ 吉岡健康推進課長 3. 報告 (1)令和4年度事業について（P1～4、資料1）</p> <p>①特定健診および各種がん検診の受診状況、がん発見の推移 ・コロナ対策で集団健診の1回あたりの受診数が制限されるため、開催回数を増やし実施したが、午後の受診者数が伸びなかった。 ・受診勧奨は、町報や放送で情報発信する他、通知や電話など様々な方法で実施している。 ・胃がん、肺がん検診は、医療機関で受診する人が多くなっている。</p> <p>②歯科対策 ・ふしめ歯科検診(歯周疾患検診)は、若い頃からの意識づけを促すため、令和3年度から20歳、30歳を追加し実施している。</p> <p>③健康講座 ・感染対策を講じながら実施しており、R4年度は20自治会から申し込みがあった。健康講座開催が難しい自治会もある為、TCCテレビ健康講座をR4年度は2つ(お口の健康、肩こり・腰痛予防)実施。</p> <p>④運動教室 ・北栄スポーツクラブと連携し、運動強度を軽め、中程度を設定し、また開催日も平日日中、夜間、休日と参加しやすいよう設定した。また運動習慣の定着に向け、回数券の利用状況を確認し、利用されていない方には勧奨をする。</p> <p>⑤ヘルスアップ教室(糖尿病性腎症重症化予防事業) ・健診結果から、対象者を絞って実施している。R4年度は看護師、理学療法士、管理栄養士に講師依頼し、講演会を開催。またハイリスク者へ県専門家派遣事業を活用し、継続的に保健指導を実施している。</p> <p>⑥高血圧対策 ・健康講座での啓発や、健康ポイントラリーのがんばりカードに血圧測定を継続して取り入れ、血圧管理の大切さを啓発している。</p> <p>⑦自死対策 ・R4年度は食生活改善推進員養成講座でゲートキーパー研修を実施する。</p> <p>⑧健康フェスタ ・社会福祉協議会の福祉まつりと合同開催とした。アンケートから、「笑い」は心の健康につながることを体感され、また六尾自治会や健康サポーターの発表からも介護予防や運動、健診受診の大切さ等多くの気づきがあり、今後の実践につながる内容となった。</p> <p>【意見等】 ・休日健診の受診者数はどのくらいか。受診しやすい環境として今後も継続して欲しい。</p> | |

- ・がん検診で要精検となり再検査しても、異常ないことがある。「要精検、再検査、異常なし」の統計はとっているか？
→現在はとっていないが、今後とってみる。
- ・がん発見が毎年あるが、発見時のステージは町に情報くるか？
→町にはこない。
- ・歯周病の進み具合は、喫煙や糖尿病など関係し、統計は見えにくいと思うが町報等でも啓発して欲しい。令和6年から歯科と医科が連携して、施設に年1回検査に入る。歯がなくても細菌数を確認することで、誤嚥性肺炎の予防になる。施設だけではなく在宅にも入るといい。
- ・健康フェスタ・福祉まつりについて、アンケートの感想が素晴らしい。健康サポーターさんから「健診の大切さ」伝わった。講師の方の人間味に溢れる人柄も良かった。「笑い」がコロナの時代にも合っていた。

(2)各組織・団体の取り組み

○北栄スポーツクラブ

- ・週3回健康運動教室を開催しているが、仲間がある、会話を楽しみにしておられるのが、継続の秘訣。プール温水化に伴い、アクアビック教室を7、8月に開催した。R5年も開催予定。またTCCテレビ健康講座に講師として出演し、ストレッチ等で体を動かすことを啓発した。

○老人クラブ連合会

- ・軽運動を企画し、年10回開催した。コロナ禍で集まるのが出来にくい、認知症予防や人と人とのつながりを考えていかないと孤独につながる。

○健康推進委員会

- ・R4年度の健診、大腸がん検診の受診呼びかけ終わった。推進員になって健診受診の大切さ等意識が変わった。自治会内でも健康講座を開催し、医師に動脈硬化のテーマで講演をしてもらい理解が深まった。

○住民代表

- ・人間ドック受診予定だったが、受診勧奨はがきが届いたことで受診行動につながる。

4. 協議

(1)令和5年度事業について (P6、資料3)

- ・計画6つの項目について、R4年度と同様に実施していく。
食生活改善推進員養成講座は、隔年開催のためR5年はなし。ゲートキーパー研修は、開催機会は未定だが実施予定。

【意見等】

- ・後期高齢者の重症化予防保健指導について、効果をみながら実施する必要がある。対象者の選定、実施内容等、医師に相談したらいい。

5. その他

(1)今後の予定 (資料2)

- ・R5年度は、引き続き計画推進の年となり、委員会は年2回を予定している。

(2)その他

※医師・歯科医師よりコメント

宮川医師

- ・減塩啓発は具体的なことが必要。健康長寿の県では、味噌汁や漬物等をあげ、推進している。全体のバランス、食事量も重要。野菜、果物の摂取も必要だが、果物の摂り過ぎ注意。よく噛むことも重要。

仲歯科医師

- ・歯科対策は引き続き行って欲しい。悪くなってから受診ではなく、悪い所はないかの確認

で受診して欲しい。「笑うこと」はだ液がよく出て、だ液の成分がストレス緩和にもつながる。
食事の時は、よく噛んで食べる事。

平賀医師

- ・資料2の健康ほくえい計画と主な関連計画等の期間を示すことは、皆さんに理解してもらい
上でよい。資料3の健康計画6つの項目に対する取り組みは、計画に基づいて記載してあ
りよい。また、このような健康計画推進委員会は、住民の方の貴重な声を聞く機会なので、
ぜひ継続して欲しい。

※次回の開催

R5年8月頃を予定している。